

# まちづくりニュース



発行：平成22年12月  
杉並区都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当



## 下高井戸駅周辺地区の まちづくり構想が提案されました

平成22年7月20日、「下高井戸駅周辺地区街づくり協議会」（会長：前田勝弘氏、会員100名）から、杉並区長に区のまちづくり条例で定めるまちづくり構想として、下高井戸駅周辺地区の「地区街づくり計画」が提案されました。

協議会として、約3年半の期間をかけ、まとめあげた構想です。区では、構想の内容を十分に尊重し、今後、地域の基礎的な調査等を行い、区のまちづくりの施策に反映するなど、下高井戸駅周辺のまちづくりを進めます。



7/20 区長に提案（左から、石井事務局長、岩田運営委員、前田会長、田中区長）

### まちづくりニュースの創刊にあたって

京王線は、杉並区と世田谷区の区界を東西に走っており、地域の重要な交通機関として両区の皆様に利用されています。

現在、京王線は、踏切による交通渋滞や事故解消などを目的に、鉄道の連続立体交差化等の都市計画手続きが進められています。下高井戸駅、桜上水駅、上北沢駅及び芦花公園駅の駅周辺地域では、この連続立体交差化を契機として、地域の皆様が主体のまちづくり協議会を設立し、世田谷区の皆様と一体となって、まちづくりの検討を進めています。（区界が離れている他の駅では、世田谷区の皆様が協議会を設立し、活動しています。）

このたび、沿線にお住まいの皆様や駅を利用されている皆様に、地域のまちづくりに関する情報提供の広報紙として、「京王線沿線まちづくりニュース」を創刊することになりました。

不定期の発行となりますが、今後も、沿線のまちづくり等の情報提供を行ってまいりますので、ご理解のほどお願いいたします。



# 下高井戸駅周辺地区 まちづくり構想の概要

「下高井戸駅周辺地区街づくり協議会」からの提案内容は、「街の将来像」として、住宅地では、「駅に近くて便利で、尚かつ環境にも恵まれた住み心地の良い住宅地」、商店街では、「日常生活感を重視した交流や賑わいと活気あふれる商店街」としています。

まち歩きによる地区点検



世田谷線沿いの快適な空間

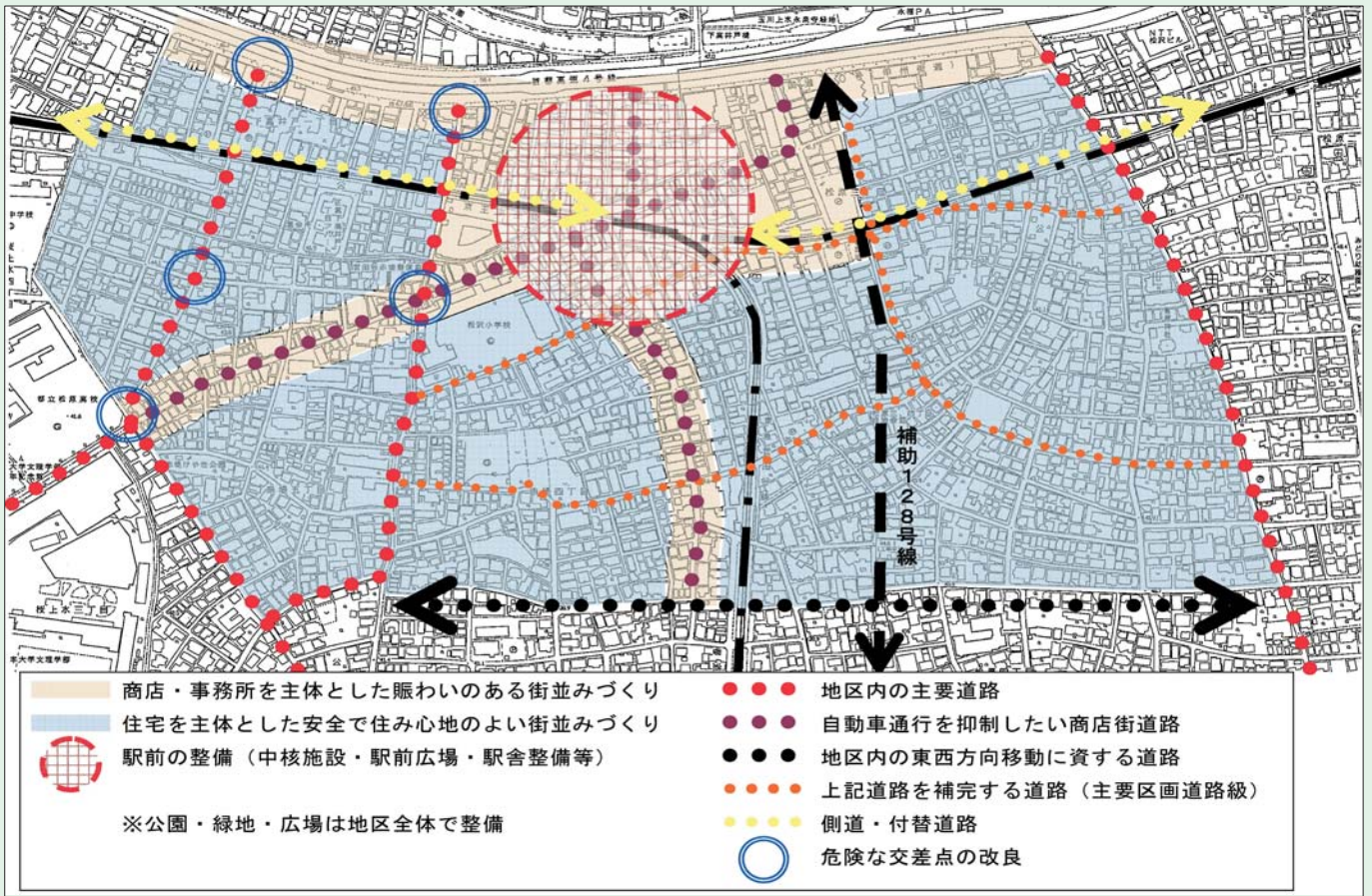
項目別の「街づくり」では、みちづくり構想、公園・広場・緑地づくり構想、住宅地や商店街での建替えのルール、地域の絆づくりの項目となっています。それぞれ、地域で取り組むもの、行政や関係機関に働きかけるもの、地域と行政が協働で取り組むものとしてまとめています。

鉄道の連続立体交差化に伴い、駅前広場については、交通アクセスの利便性の向上、街のシンボル、防災性の向上、情報の発信、地域交流の広場に考慮した整備を望んでいます。また、駅舎については、鉄道乗降という基本的な機能は十分な水準を備え、災害対策拠点としての機能を担うことも求めています。

駅周辺のさらなる賑わいづくりとして、商店街の中核施設や商店街モール（遊歩道）などの整備についての考え方も示しています。

提案された構想では「街づくり基本構想図」として、地区全体の大まかなイメージを、図にまとめています。（※提案された構想は、区の公式ホームページでも、ご覧いただけます。）

## 【街づくり基本構想図】



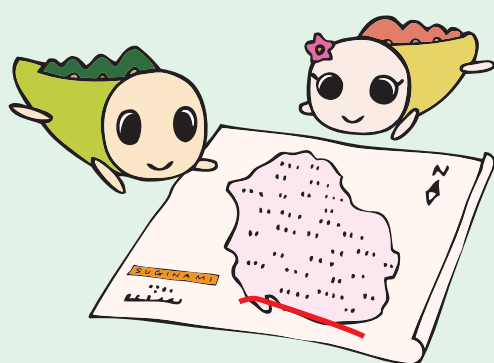


# 京王線沿線 地域のまちづくり

京王線沿線の各駅周辺では、鉄道の連続立体交差事業（※参照）を契機に、「地域のまちづくりは、地域で考えよう」として、地域住民による、まちづくり協議会が発足し、まちづくりの検討を行っています。

各協議会の区域内にお住まいの方、事業を営んでいる方、まちづくりに興味がある方など、協議会では、広く会員の方を募集しています。

会員数は、概ね100名前後ですが、各協議会で異なり、180名を超える会員の方々が活動している協議会もあります。自分たちのまちに興味のある方は、ぜひ、協議会活動に参加してみませんか。



50年先100年先の将来のまちをイメージして、駅周辺の特徴や趣き、まちの成りたちなども考えながら検討している協議会もあります。

次世代にまで誇りをもってバトンタッチできるようなまち、また、安全安心で住みやすく、それぞれの「まちらしさ」が感じられるまちを目指し、地域と行政が協働して、まちづくりを進めていきます。

まちづくり協議会のお問合せ等は、区の担当課までご連絡ください。（連絡先は、最終ページ下段に掲載しています。）

## （※参照）

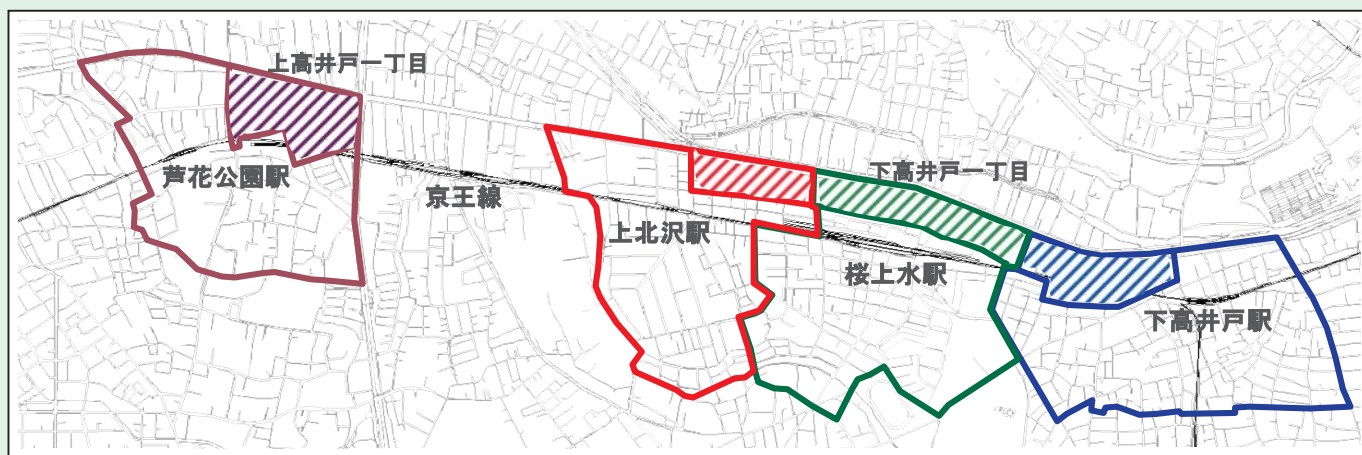
連続立体交差事業は、都市部における道路整備の一環として、道路と鉄道との交差部において、鉄道を立体化することによって、多数の踏切を一挙に除却し、踏切渋滞、事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業です。

芦花公園駅周辺地区  
街づくり協議会

上北沢駅周辺地区  
まちづくり協議会

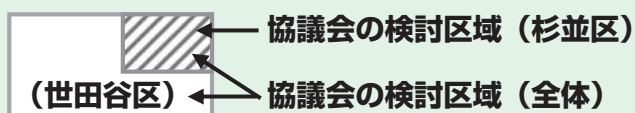
桜上水駅周辺地区  
街づくり協議会

下高井戸駅周辺地区  
街づくり協議会



「この背景の地形図は、東京都都市整備局と東京デジタルマップ㈱が著作権を有しています。（承認番号：17東デ共許第004号-29）」

「この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。（承認番号：22都市基字第379号）」



□下高井戸駅周辺地区のまちづくり構想のまとめは既に終了し、区長に提案されました。

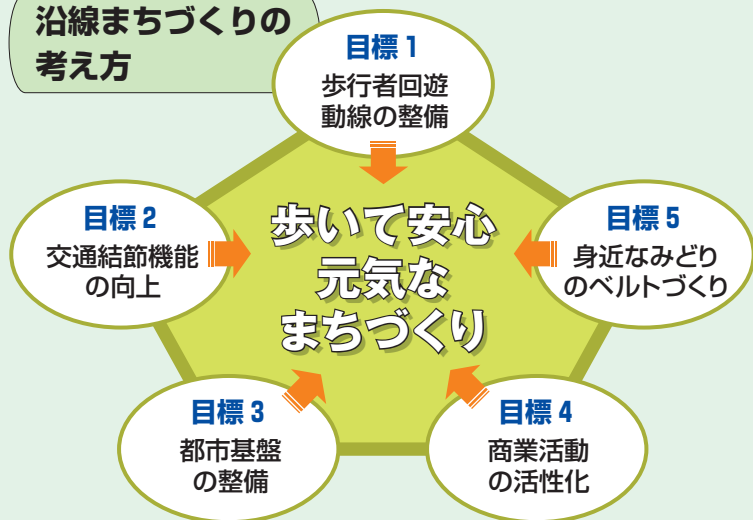


# 京王線沿線まちづくりの基本的な考え方

杉並区内の京王線沿線地域は、鉄道により地域間の交流が分断されているとともに、都市基盤の整備が十分とはいえない地域です。また、区内3箇所の京王線踏切は、すべて「開かずの踏切」であり、交通渋滞や歩行者の安全性に対する不安など、様々な課題を抱えています。

平成21年10月、杉並区では、京王線の連続立体交差化の動きを契機として、関係者及び関係機関と連携・調整してまちづくりを進めるため、京王線沿線のまちの将来像を示す「京王線沿線まちづくりの基本的考え方」を策定しました。

## 沿線まちづくりの考え方



## 各駅周辺まちづくりの考え方

	まちづくりの考え方
下高井戸駅周辺地区	交通結節機能と商店街の魅力向上を図り、人になややすく賑わいのあるまちづくり
桜上水駅周辺地区	交通結節機能の向上を図り、商業施設と住宅が調和する人になやしく住みよいまちづくり
上北沢駅周辺地区	防災性の向上を図り、安全で親しみのあるまちづくり
八幡山駅周辺地区	交通結節機能の向上を図り、周辺住民が日常的に楽しむことができる賑わいのあるまちづくり
芦花公園駅周辺地区	交通結節機能の向上を図り、商業施設と住宅が調和する人になやしい魅力的なまちづくり

## 杉並区のまちづくり

杉並区21世紀ビジョンで「区民が創る『みどりの都市』杉並」をまちの将来像として掲げ、都市計画マスタープランで「まちづくりの具体的な方向」を示し、地域のまちづくり事業を展開しています。

「京王線沿線まちづくりの基本的な考え方」も、21世紀ビジョン、都市計画マスタープランに基づき、沿線のまちづくりの考え方を提示し、地域の皆様とともに、まちづくりを進めていきます。

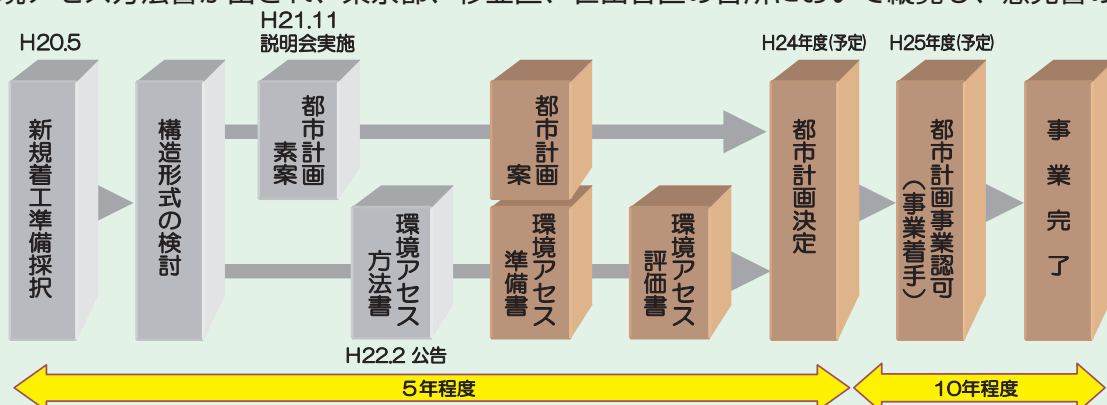


# 連続立体交差事業の概ねの流れ

昨年11月11日～20日にかけて、京王線沿線の8会場で京王線（笹塚駅～つつじヶ丘駅間）連続立体交差化等の都市計画素案説明会が開催され、延べ約3,000名の方々が出席しました。

また、本年2月には環境アセス方法書が出され、東京都、杉並区、世田谷区の各所において縦覧し、意見書の提出手続きが行われました。

今後、京王線連続立体交差化等の都市計画案および環境アセス準備書の説明会が予定されており、右記のスケジュールで進められる予定です。



杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当

杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111 (内線) 3504 Fax 03-5307-0689